

令和3年度 第2回 和泉市立総合医療センター
クリニカルカンファレンスの開催

日時：2021年7月29日（木）17：30～18：30

1. 『ショック時の対応について』

和泉市立総合医療センター 麻酔科 部長 橋村 俊哉

2. 『薬剤誘発性褥瘡について』

和泉市立総合医療センター 薬剤部 濱崎 淳哉

大阪府医師会生涯研修システム講習会に申請中です。
当講演会は医療従事者向けの講演会になります。

2021年度 第2回

緩和ケアチームオンライン学習会

日時：2021年6月29日（火）17：30～

テーマ：疼痛①

～アセスメント・薬物療法・副作用～

講師： 腫瘍内科医 長谷川 喜一
看護師 野田 順子
薬剤師 宮武 望

★申込み・参加方法については同封書面をご参照ください。

6月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、
地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター
予約受付時間



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで
土曜日 9：00～13：00まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）
TEL:0725-41-3150（直通）
FAX:0725-41-2513（直通）

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



私たちは放射線科チームです。
診断部門、治療部門ともに多職種が密接に連携しながら
最善の医療を提供しています。



医員（診断） 前田 裕之
医長（診断） 田中 紀子
部長（診断） 大平 友弘
医長（治療） 益岡 豊
部長（診断） 徳永 正弘
副院長（治療） 多田 卓仁
技師長 穴井 重男
放射線科スタッフ

病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に務めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

放射線科からのご案内

初夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

現在、放射線科は常勤医6名（放射線診断専門医3名、放射線治療専門医2名、放射線科専攻医1名）、非常勤医師数名により診療を行っています。画像診断における中軸であるCT、MRIは各2台で運用しており、連日多くの検査を行い、読影件数も順調に伸びております。当院が新病院に移転し、和泉市立総合医療センターとして早4年目を迎えておりますが、旧病院時代と比べ、診断医による年間総読影件数は約3倍に近づいております。同様に、多くの地域医療機関からもCTで約2倍、MRIで約1.5倍と年々多くの患者様を当放射線科にご紹介頂くようになり、誠にありがとうございます。

さて、ご存じの通り、医療法施行規則の一部改正により「診療用放射線に関連する安全管理体制の確保」が法制化し、施行後1年が経過しました。当院においても、医療放射線安全委員会が医療安全管理委員会のもとに設置され、求められている事項（①医療放射線安全管理責任者の設置、②安全利用のための指針策定、③

被ばく線量の管理・記録、④過剰被ばくその他の事例発生時の対応方針の決定、⑤安全利用のための院内研修の実施、⑥医療従事者と患者間の情報共有）について対応しております。つきましては、CT、核医学（RI）検査をご予約される際には、日々診療でご多忙中に恐縮ではございますが、医療放射線被ばくに関する患者様への説明、特に検査の要否を判断する上での正当化（リスク、ベネフィットを考慮した上で必要と判断された検査であること）についての説明をお願い致します。なお、当院ホームページ「地域連携センター」において、「患者さまへの放射線被ばくの説明」、「医師への放射線被ばくの説明」を掲載しておりますので必要に応じてご利用ください。

地域の先生方と共に、適切な放射線画像検査の施行と、迅速かつ正確な診断を心掛けて、皆様のご要望にお応えできるよう一層努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

放射線科 部長 徳永 正弘



和泉市立総合医療センター
放射線科 部長 徳永 正弘（とくなが まさひろ）
〈資格〉
日本医学放射線学会放射線診断専門医

2017年度～2020年度 年度別各検査 紹介件数



	CT	MRI	RI	リニアック	骨塩定量	心臓CT	合計
2017年度	350	301	14	50	40	26	781
2018年度	452	390	16	55	35	45	993
2019年度	611	500	21	55	38	42	1267
2020年度	637	427	18	47	26	39	1194

当院で使用しているCT・MRI機器

320列CT

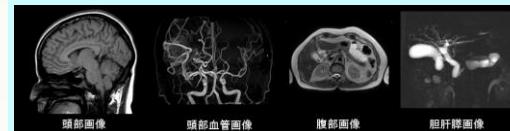


1回転で16cmという広範囲の撮影を可能にした、320列面検出器を搭載することで、一度に広範囲を短時間で撮影が可能です。撮影時間が短くなることで、放射線被ばくや造影剤の使用量も低減し、患者さまの負担が少なくなり、3D画像に時間軸を加えた画像表示、4D画像が可能になり、今までの形態診断に「機能診断」や、「動態診断」が付加され、CT検査の適応が広がり、特に心臓・循環器検査においては絶大な効果が得られます。

3.0T MRI



従来の1.5T MRIに比べ、非常に強力な磁力線と電波を利用し、全身の微細な病変を時間短縮または、高画質化することができます。高解像度画像により、より小さな異変も発見しやすくなり、もしくは気づきやすくなり、早期発見・早期治療することが可能になります。また、造影剤を使用することなく、1.5T MRIと比較して、より末梢の血管の撮像ができるようになったことで検査中の身体への負担を軽減することができます。



その他 当院で使用している機器

2019年3月より
1.5TMRI、80列CTを
増設しました!

1.5T MRI



80列CT



ご紹介いただく先生方へ

検査依頼の増加に伴い、「予約が取りづらい」「待ち時間が長い」などのご不便・ご迷惑をおかけしております。2019年3月からCT装置、4月からMRI装置を各1台増設し、それぞれ計2台体制で対応しております。地域の先生方からのご依頼に迅速に responding いたしますので、ご紹介の程宜しくお願い申し上げます。